

KanH●Kyo

2017/1
vol.96



CONTENTS

- あいさつ 協議会会長 宮之本昭二 1
..... 千葉県知事 森田健作 2
- 協議会活動 公害防止管理者育成研修、公害防止管理者実務講習 3
..... 廃棄物関係管理者研修、ISO14001 内部監査員養成セミナー 4
- 会員紹介 新日鐵住金(株) 君津製鐵所 5
..... 東洋エンジニアリング(株) 6
- 行政ニュース ヒメコマツ系統保存サポーターの募集について 7
..... CO2CO2スマート宣言事業所登録制度について 10
- 地域部会、イベント等 地域部会活動報告、エコメッセ 2016in ちば 13
..... 協議会スケジュール、お知らせ 14





あいさつ



会長 宮之本 昭二

日本板硝子(株)
千葉事業所長

明けましておめでとうございます。

お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、4月は熊本で震度7を観測する地震が発生し、大きな被害をもたらしました。10月には鳥取で震度6弱の地震があり、その1か月後には福島県沖を震源とする震度5弱の地震により東日本大震災以来となる広範囲の津波が発生致しました。更に、10月には熊本県阿蘇山の中岳で爆発的な噴火があり、11月には観測史上初の積雪を経験するなど、各地での異常気象と大きな自然災害が発生した年でもありました。

春には新名神高速道路の延伸工事現場で橋桁が落下した事故や直近では福岡県の博多で早朝に道路が陥没するなどの大きな事故災害も発生致しました。

一方、喜ばしいこととしましては南米初となるオリンピック・パラリンピックがリオデジャネイロで開催され、日本人の活躍が目を見張り感動を与えました。4年後の東京オリンピックがとても楽しみです。また、ノーベル生理学・医学賞も受賞し、3年連続ノーベル賞を受賞するという偉業も成し遂げました。

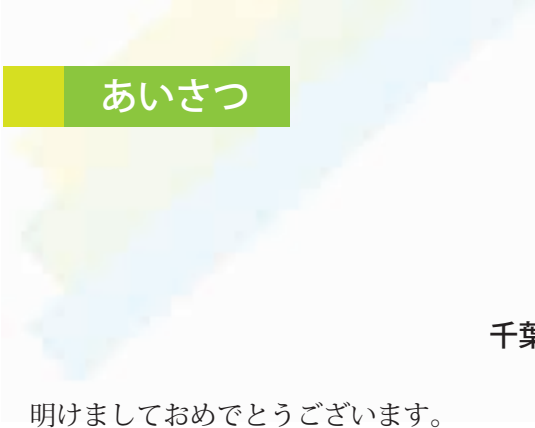
世界的な規模では新たな気候変動枠組として「パリ協定」が採択されました。今後、大幅な省エネや脱炭素化への転換が必要になってくると考えられます。

その他、今日の環境問題として、廃棄物処理、水質・大気・土壌汚染といった生活環境保全も多くの課題が残っております。このような状況の中、当協議会は各産業、企業の枠を超えて、環境保全活動に積極的に取り組む意義と必要が大いにあるものと認識しております。

当協議会は、諸先輩並びに関係各位のご尽力により着実に成果を挙げ、環境保全に関する種々の取り組み、公害防止管理者等の育成、会員相互の交流・啓発・情報交換等を行って参りました。引き続き、各行政様のご指導を賜りながら、また会員の皆様のご意見・ご要望を丁寧にお伺いしながらしっかりと任務を遂行したいと思っております。

最後に、本年の各会員企業の皆様方の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げるとともに、今後も当協議会に一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

平成29年1月1日



あいさつ

千葉県知事 森田 健作



明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県環境保全協議会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、3回目となる「ちばアクアラインマラソン2016」を開催し、今回から正式種目となった車いすハーフマラソンを含め約1万6千人のランナー、そして、36万人もの沿道応援者に参加いただき、本県の魅力とおもてなしの心を、国内外に発信することができました。県内企業や県民の皆様の御協力に、あらためて感謝申し上げます。

県では、これまで総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」に基づき、「暮らし満足度日本一」を目指して、県民の安全・安心の確保、成田空港や道路ネットワークを生かした経済活性化、国内外への千葉の魅力発信などに取り組んでまいりました。

そうした中で、昨年は、成田空港の更なる機能強化、北千葉道路や東京外郭環状道路の整備といった、本県にとって重要な交流基盤整備について、未来につながる大きな動きがありました。また、東京オリンピックのサーフィン競技の会場が、一宮町の釣ヶ崎海岸に正式に決定し、本県の魅力を世界に広めるチャンスが、また1つ増えました。

これらはすべて、地元市町、経済界をはじめ関係者の皆様と力を合わせ、一步一步進めてきたものであり、まさにチームワークで取り組んできた成果であると考えております。

本年も、引き続き皆様と力を合わせて、首都圏、そして日本をリードし、次世代に誇れる「日本一光り輝く千葉県」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

環境分野では、昨年策定した「千葉県地球温暖化対策実行計画」に基づき、地域からの地球温暖化対策を推進するため、行政はもとより、県民や企業の皆様にも自ら行動し実践していただけるよう努めてまいります。また、新たな「東京湾総量削減計画」を、本年6月を目途に策定し、東京湾の更なる水質改善に取り組むほか、PCB廃棄物の適正な処理に向けた実態調査を昨年に引き続き実施いたします。

これらの施策を通じて、県民の皆様の大切な生活環境を守り、恵み豊かな環境づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様の一層の御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、貴協議会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。



協議会活動

公害防止管理者育成研修

【水質関係】 9月15日(月)

- ・「土壌汚染対策法の見直しの動向について」
千葉水質保全課 主査 大島 史寛 氏
- ・「千葉県内における異常水質発生状況等について」
千葉県水質保全課 班長 在原 潤 氏
- ・「事業場への排水規制と千葉県環境研究センターの役割」
千葉県環境研究センター
主任上席研究員 木内 浩一 氏



【騒音振動悪臭関係】 11月9日(水)

- ・「騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の概要」
千葉県大気保全課 副主査 伊藤 祐子 氏
- ・「騒音・振動技術の基礎と測定機器の紹介」
千葉県環境研究センター
大気騒音振動研究室長 石橋 雅之 氏
- ・「騒音規制法／振動規制法の概説」
(公益)日本騒音制御工学会 堀江 侑史 氏



測定機器を使っでの実験

【化学物質関係】 1月18日(水) 予定

公害防止管理者実務講習

12月19日(月)

- ・「公害防止管理者制度について」
千葉県環境政策課 主査 宮澤 利幸 氏
- ・「分析業務についてのあれこれ」
(株)MCエバテック つくば分析センター 氣田 明治 氏
- ・「健全な環境経営の実践・・・公害防止ガイドライン・・・」
一般社団法人産業環境管理協会 技術参与 大岡 健三 氏



研修会受付

協議会活動

廃棄物関係管理者研修

【適正処理研修】 8月17日（水）

- ・「産業廃棄物の処理に係る留意点等について」
千葉県廃棄物指導課 主査 小松 圭 氏
- ・「第9次千葉県廃棄物処理計画について」
千葉県循環型社会推進課 室長 市原 泰幸 氏
- ・「廃棄物横流し事件の教訓ー今すぐリスク管理の徹底をー」
(株)日経BP 記者 富岡 修 氏



【施設見学会】 10月18日（火）

- ・(株)丸幸エコファクトリー神々廻の森（白井市）
リサイクルを「離再来」に込めて限りある資源を守ろうと一生懸命に頑張っています。
- ・キリンビール（株）取手工場
「一番搾り」に掛けるこだわりとその情熱を多く学び、ぐいっと来ました。



ホップの実



【資源循環研修】 1月31日（火） 予定

ISO14001内部環境監査員養成セミナー(2日間コース)

12月12日（月）～13日（火）

講師 (株)品質保証総合研究所（JQAI）
主席講師（EMS 主任審査員） 青木 雅彦 氏

2015 年移行対応の内部環境監査員養成コース内部環境監査の技法を実際に則した演習で学びました。



VTRでの研修



実習の様子



グループ発表

会員紹介



新日鐵住金株式会社 君津製鐵所

しんにってつすみきん

鉄鋼業は製造プロセスそのものが、高いエネルギー効率を実現する「エコプロセス」

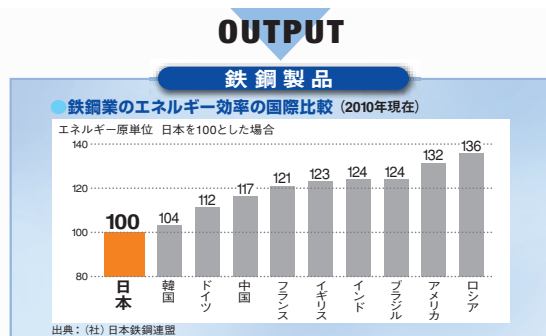
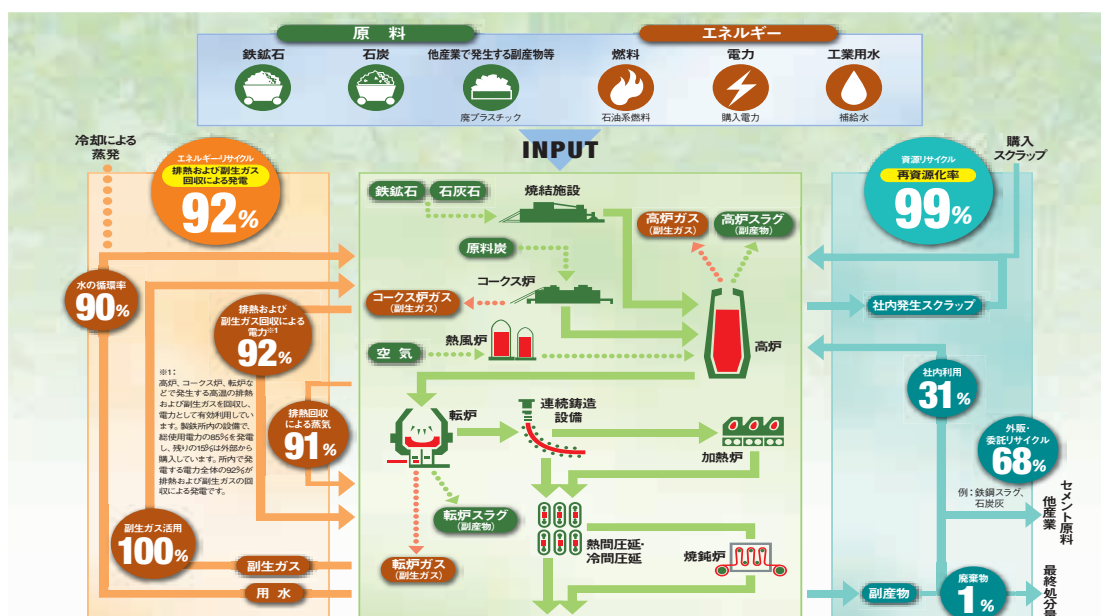
新日鐵住金は海外で採掘された鉄鉱石、鉄鉱石を還元するための石炭、社会から発生したスクラップを主な原料として鉄鋼製品を生産しています。

生産に伴って発生するコークス炉ガスおよび高炉ガスなどの副生ガスは、鋼材加熱用の燃料ガスや製鉄所構内にある発電所のエネルギー源として 100%有効活用しており、水資源についても、冷却や洗浄に使用する水を 90%以上循環使用しています。

一方、鉄 1 トンあたり約 600 キログラムの副産物が発生しますが、鉄鋼スラグ、ダスト、スラッジは社内で原料として再利用するほか、セメント原料や路盤材などで有効に活用されています。これらの努力により、99%におよぶ高いリサイクル率を達成しています。



君津製鐵所と郷土の森



夕日に映える第4高炉と富士山

会員紹介



東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリングは、1961年の創業以来、さまざまな国・地域でエネルギーや素材を供給するプラント建設プロジェクトを手がけてまいりました。海外のグループ企業とグローバルネットワーク体制を構築し、エネルギー分野をはじめあらゆる産業施設や製造設備、インフラストラクチャーの設計・調達・建設を行っています。さらに関連する技術サービスの提供や、商業化支援、運転支援、コンサルティングやシステム構築プロジェクトにいたるまで、お客様のビジネスシステムやバリューチェーンを最適化し、新しい企業価値を創出するための問題解決の提案と実現手段を提供してまいります。当社グループは、その使命である「Engineering for Sustainable Growth of the Global Community」を実現するために、技術を統合し全体システムの最適化を実現するエンジニアリングの遂行を通じて、社会に貢献することを目指しています。

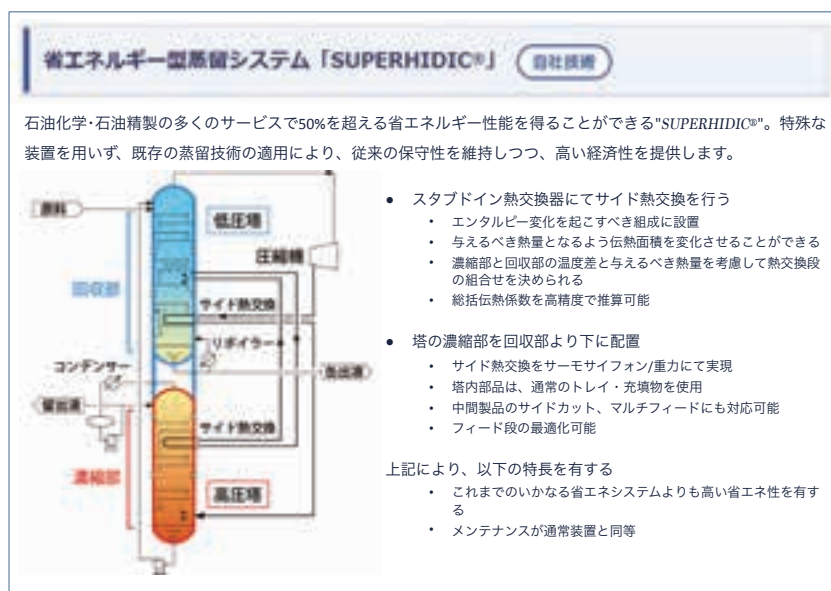


東洋エンジニアリングは、地球資源と自然環境の保全及び地球温暖化防止を人類共通の課題と認識し、環境に対する基本理念を、

・ 人類の発展と環境保全を両立させ得る持続可能な開発に貢献する

・ 国際的な企業の一員

として地球環境と調和のとれたエンジニアリングを提供することにより環境保全に貢献すると定めております。この理念を実現するために、当社は技術の開発および導入・改良を積極的に進め、様々なソリューションを提供しています。





行政ニュース①

ヒメコマツ系統保存サポーターの募集について

千葉県 環境生活部 自然保護課 生物多様性センター

県では、ヒメコマツの個体数が急減し、絶滅の恐れが高いことから平成 14 年度に「最重要保護生物(A)」に選定しました。平成 21 年度には千葉県ヒメコマツ保全協議会を作り、「千葉県ヒメコマツ回復計画」を策定し、その保護回復に取り組んでいます。

平成 28 年 1 月から 2 月には、県が用意したヒメコマツの苗を育成・管理する育て親「ヒメコマツ系統保存サポーター」を募集し、約 100 名の個人・団体に苗を配布しました。6 月からはその 2 次募集として、県内に拠点を有する団体（企業、学校、NPO、市町村を含む）を対象にサポーターを募集しています。

本事業はサポーターの皆様にヒメコマツを育てていただくことにより、ヒメコマツに対する理解を一層深めていただき、ヒメコマツが絶滅するリスクを分散することを目的としています。

【ヒメコマツとは】

ヒメコマツは山地性のマツ科の針葉樹で、ゴヨウマツとも呼ばれます。本州の東北南部以南の太平洋側と、四国、九州に分布し、尾根筋の露岩上などに生育しています。垂直分布は、500 ～ 1700 m とされますが、千葉県内では房総丘陵の標高 120 ～ 350 m の低山地のみに生育します。この房総丘陵の個体群は、ヒメコマツの中で最も標高が低く、最も温暖な地域に生育する、極めて特異な個体群であると言えます。

【千葉県のヒメコマツ】

関東地方におけるヒメコマツの個体群は、約 1 万年前までの最終氷期に広く分布していたものが局所的に残った「遺存分布」であると考えられていますが、この中でも房総丘陵の個体群は、他の個体群から遠く離れ、空間的に孤立の度合いが強い集団となっています。

そのため、房総丘陵のヒメコマツ個体群は、寒冷期の遺存植物として房総半島の地史的、植物地理学的観点から非常に重要な存在です。しかし、1970 年頃までは県内に数千本が自生していたものがその後、急激に枯死し、現在確認できているのはわずか 75 本で、個体群の消失が危惧されています。急激な減少の要因については、マツ材線虫病や干害の影響、森が暗くなったために稚樹が生長できないこと等が考えられるものの、不明な点が多く、原因の究明にはなお時間を要するものと思われます。

千葉県のヒメコマツ野生株数の激減

1970 年頃まで	数千本が自生（その後、急激に枯死が進む）
1977 年	スミ沢小集団で 71 本のうち 46 本が枯死
1980 年代	500 本程度（藤平 1986、大沢 1988 の調査による）
2000-2001 年	98 本（房総のヒメコマツ研究グループによる）
現在	75 本



枯死したヒメコマツ（君津市）



「歌麿 庭中の涼み」喜多川歌麿（1788～1790 頃）
県立中央博物館収蔵

【ヒメコマツの系統保存】

ヒメコマツはもともと、盆栽や庭木として江戸時代から栽培されてきた植物で、自然界ではどんどん数を減らしているにもかかわらず、栽培は容易です。そこで本事業では、県内のヒメコマツの系統を確実に保存するため、接ぎ木や交配して得られた種子から実生（みしょう）苗を育てる技術を研究し、接ぎ木苗と実生苗をあわせて230本用意しました。

接ぎ木苗は県内に残るヒメコマツから採った枝をクロマツ台木に接いで作ったものですので、もとのヒメコマツとまったく同じ遺伝子をもつクローン株です。

一方、実生苗は、県内のヒメコマツ同士を交配させて得た種子を播種・栽培したもので、クローン苗ではありませんが千葉県ヒメコマツの遺伝子を有する苗です。一説によれば、接ぎ木苗より実生苗の方が木の寿命は長いとも言われています。

今回、県内に拠点を有する団体にお配りする苗は、すべて実生苗です。サポーターの皆様にはできるだけ長くヒメコマツを育てていただき、将来万が一、その系統のヒメコマツが完全に絶えてしまった場合には、接ぎ木用に枝を分けていただくよう、協力をお願いしています。

【房総のヒメコマツ観察会】

生物多様性センターでは、年に一度、房総のヒメコマツ自生地を訪ねる観察会を行っています。今年度は藤平量郎氏（房総のヒメコマツ研究グループ代表）と、尾崎煙雄氏（千葉県立中央博物館 主任上席研究員）に講師をお願いして、12月3日（土）に清和県民の森とその周辺のヒメコマツ自生地で実施しました。

風もなく暖かなハイキング日和で、房総半島の遅い紅葉を楽しみながらの観察会となりました。千葉県のヒメコマツは基本的に急峻な尾根や崖にしか残っていないため、落ちたら危険な細い尾根道やロープを頼りに岩をよじ登る等、途中いくつか難所があるコースでしたので、主催者としては少し心配しましたが、参加者のアンケートを見ると「紅葉がすばらしくベストタイミングだった。ヒメコマツを見るのはこんなに歩かなくてはいけなかったのかとびっくりした」、「絶対個人ではいられない所へ案内していただき、本当に有難かったです」等、満足していただけようでした。この観察会はどなたでもお申し込みいただけますので、ヒメコマツの現状に関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください。来年度も冬期に開催予定です。

【ヒメコマツ系統保存サポーター 募集内容】

（1）応募資格

ヒメコマツの遺伝系統を保存し、その活用を図るため、長期にわたって育成・管理し、定期的にモニタリングデータの提供をしていただける県内に拠点を有する団体（企業、学校、NPO、市町村を含みます）。



岩に生えるヒメコマツ（富津市）



(2) 配布苗

ヒメコマツ実生苗（樹高 20 ～ 90 c m）50 本。

原則として、1 植栽地につき 1 本。

(3) 配布日時

原則として平日の 9:00 ～ 16:30。

ご相談により、ほかの日時でもお渡しできます。

(4) 配布場所 千葉県生物多様性センター

（千葉市中央区青葉町 955 － 2 中央博物館内）

(5) 苗の所有権

ヒメコマツ系統保存サポーターに帰属します。

(6) 配布申込

申込票（生物多様性センターウェブサイトからダウンロード）...

必要事項を記入の上、県生物多様性センター宛てにファックスあるいは、必要事項をメールしてください。

http://www.bdcchiba.jp/endangered/recovery_plan/himekomatsu/H28himeko_support.html

(7) 応募締切

先着順で受付を行い、苗がなくなり次第、締切とします。



【ヒメコマツ系統保存サポーターの責務】

(1) 善良な管理者として、大切に育てること

(2) 年に 1 回、樹高、直径、着果状況、活力度等を県に報告すること

(3) 樹勢が急に落ちるなど不測の事態には、生物多様性センターに連絡すること

(4) 県からの求めに応じて、枝等生育個体の一部を提供すること

【県からヒメコマツ系統保存サポーターへの情報提供等】

(1) ヒメコマツに関する情報を提供します。

栽培マニュアルの配布、育成に関する相談対応、

回復状況、観察会やシンポジウムの案内等

(2) 生物多様性に関する情報提供を行います。

各種イベント、ニュースレターの配布等



＜千葉県ヒメコマツ保全協議会構成員＞

千葉県環境生活部自然保護課

関東森林管理局千葉森林管理事務所

千葉県農林水産部中部林業事務所

千葉県農林水産部農林総合研究センター

森林研究所

君津市経済部農林振興課

房総のヒメコマツ研究グループ

東京大学大学院農学生命科学研究科

附属演習林千葉演習林

千葉県立中央博物館

ヒメコマツ系統保存サポーター 2 次募集 申込・問合せ先

千葉県生物多様性センター

〒 260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2 中央博物館内

e-mail bdc@mz.pref.chiba.lg.jp

電話 043-265-3601 FAX 043-265-3615

行政ニュース②

CO₂CO₂スマート宣言事業所登録制度について

千葉県環境生活部循環型社会推進課

千葉県では、平成28年9月に「千葉県地球温暖化対策実行計画～CO₂CO₂スマートプラン～」を策定し、地球温暖化対策の取組を推進しています。

中でも、近年、温室効果ガス排出量の増加率が高い業務部門（事務所・店舗等）については2030年度の温室効果ガス排出量を43%削減するとしています。

目標を達成するためには、事業者自らが積極的に省エネなどに取り組んでいくことが必要であり、県では地球温暖化対策に積極的に取り組む事業所を応援するため、このたび「CO₂CO₂スマート宣言事業所登録制度」を開始しました。

省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入等、地球温暖化対策に積極的に取り組む千葉県内の事業所を「CO₂CO₂スマート宣言事業所」として登録し、その取組を広く紹介する制度です。一般社団法人 千葉県環境保全協議会様も含め、22の事業所に御登録をいただいております。貴社の環境配慮への取組のPRにぜひご活用ください。

登録受付期間 平成33年3月15日まで（随時受付）
登録有効期間 平成34年3月31日まで

1 制度の概要

- (1) 対象事業所 千葉県内に所在し、現に事業活動を行っている事業所
(2) 登録コース 各事業所の状況に応じて選択できる2つのコースを設けています。

スタンダード・コース	プレミアム・コース
温暖化対策に関する40の取組項目のうち 13項目以上への取組を宣言	・40の取組項目のうち 18項目以上への取組を宣言 ・省エネに関する数値目標の達成に取り組む ・毎年度、県に取組状況を報告

※上記のコースに加えて、事業所の従業員が家庭での温暖化対策に取り組むことを宣言するコース（プラス・コース）もあります。

(3) 登録のメリット

- ・名刺や刊行物にロゴマークを使用できます。
- ・ロゴマーク入りのステッカーを掲示できます。
- ・事業所の取組を千葉県ホームページ等でPRできます。

【プレミアム・コース限定】

- ・特に取組の優れた事業所の取組内容取材し、事例集として県刊行物等で紹介します。
- ・特に取組の優れた事業所をチーバくんが訪問して激励します。



登録ロゴマーク

2 登録手続き

所定の「登録申請書」及び「取組計画書」（千葉県ホームページからダウンロード）に、必要事項を記載の上、千葉県環境生活部循環型社会推進課へ提出してください。

取組計画書の主な記載事項

取組項目

取組項目（別表）の中から、既に取り組んでいる項目、又は申請を機に取組を開始した項目で、今後の取組継続を宣言するものを選択してください。（ただし、プレミアム・コースの登録にあたっては、投資を伴う取組のみ取組予定でも選択可能です。）

取組項目は、クールビズ、ウォームビズの実施や、紙の使用量削減、照明の間引きなどの、運用により対応可能な項目から、LED照明の設置、次世代自動車の導入など投資が必要な項目など40の項目があります。ぜひ、皆様の事業所の現在の取組と照らし合わせてみてください。

PR項目

事業所の取組に関するPRを県ホームページに掲載することができます。
（例：エコドライブに取り組んでいます、製造ラインの高効率化を実現しました、等）

数値目標（プレミアム・コースのみ）

プレミアム・コース登録事業所は、下記のうち、1項目以上の目標を選んでいただき、取組状況を毎年度ご報告いただきます。

目標番号	指標	年間削減率
1	エネルギー消費原単位	オフィス系1.5%、工場系1%
2	自動車1台当たり燃料消費量	1.5%
3	事業系一般廃棄物の排出原単位	1%
4	二酸化炭素排出量	2%

【基準年度】平成22年度から平成29年度までの間から任意で選択できます。

【取組期間】基準年度の翌年度から平成32年度まで

【目標削減率】年間削減率（%/年）×取組期間（年）

基準年度の実績値と、平成30年度から平成32年度までの3年間の実績の平均値を比較して、目標削減率を上回った削減がされていることを目指します。

CO2CO2スマート宣言事業所（平成28年12月13日現在、登録順）

【プレミアム・コース 4事業所】

株式会社ムラカミ
株式会社千葉銀行 本店
有限会社東軌建設
妙中鉱業株式会社

株式会社陽光社
青木建設株式会社
株式会社天野さく泉建総
株式会社太陽堂印刷所 本社・第一工場
ティー・エム・ターミナル株式会社 市原事業所
リコージャパン株式会社 幕張事業所・柏事業所
関東天然瓦斯開発株式会社
公営事業株式会社 千葉支店
一般社団法人 千葉県環境保全協議会
田島梱包資材株式会社
有限会社秋元工業
塚本総業株式会社千葉支社

【スタンダード・コース 18事業所】

株式会社協栄 千葉支店
鎌ヶ谷市福太郎アリーナ（市民体育館）
白井市民プール
株式会社鈴木組



(別表) 取組項目【網掛：必須項目／青字：投資項目】

スタンダード・コースは必須項目 3 項目を含む 13 項目以上
プレミアム・コースは必須項目 5 項目を含む 18 項目以上を選択してください

省エネルギー全般	照明・電力
専門機関による省エネルギー診断等の受診	照明の間引きや部分的な消灯の実施 必須
エネルギー使用量の管理、見える化・分析	照明の消灯時間帯の設定
エネルギー・マネジメント・システム(EMS)の設置	事業所内の半数以上の照明に LED 照明等の高効率照明を使用 プレミアム必須
事業所の建物が環境性能に関する第三者認証制度での認定・認証等を受けている	事業所内のトイレ、給湯室、階段等、常時使用しない箇所の照明への人感センサーの導入
太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備の設置	事務用機器等の省エネモード等の利用
コージェネレーション設備の設置	
照明器具や空調機器の定期清掃の実施 必須	空調
給湯設備や空調設備の配管の断熱化	室温の適正管理(夏 28℃、冬 20℃目安) 必須
ボイラーの燃焼空気量の適正管理	クールビズやウォームビズの実施
節水機器の設置による上下水道使用量の削減	空調負荷の低減のためブラインド等を適切に活用
「エコマーク」等の環境ラベルの表示がある事務用品等の購入	空調の吹出口やエアコン室外機の通風を確保
「省エネラベル」等を参考に省エネルギー性能の優れた OA 機器等の購入	高効率空調設備の導入
省エネの責任者及び担当者を決め、組織として省エネの実施体制を整備 プレミアム必須	屋根面・壁面等の断熱化や遮熱化
ノー残業デーの設定・残業時間の制限など、ワークスタイルの見直しへの取組	二重窓・複層ガラス・遮熱フィルム等による窓の断熱化や遮熱化
	自動車
省エネルギー全般 (テナント関連)	プラグインハイブリッド自動車・電気自動車等の次世代自動車の導入
テナントとの省エネ推進体制の構築 (定例会議の開催・報告会の実施、テナントの省エネ担当者を登録 など)	運転を担当する従業員へのエコドライブの促進
テナント向けの省エネマニュアルの作成	運転を担当する従業員又は従業員グループ別の燃費把握
テナントへのエネルギー消費量・デマンド値を通知	配送・配車計画の策定等による、効率的な輸送経路による運行
テナントオーナーとの省エネ推進体制に参加 (定例会議への参加など)	共同集荷・集配などによる積載率の向上を図るため、事業者間の連携に取り組んでいる
	従業員のエコ通勤を推奨している (公共交通機関・自転車の利用等)
廃棄物削減	森林保全・緑化
3R(リデュース・リユース・リサイクル)への取組	森林の整備や保全活動への参加・協力
両面コピー、使用済みの裏紙使用、資料の電子化等による紙の使用量の削減の実施	敷地や建物(屋上・壁面等)の植栽や緑化

<参 考>

○ CO2スマート宣言事業所登録制度(千葉県ホームページ)

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyuuukankyou/co2co2smart/office/index.html>

【お問い合わせ先】

千葉県環境生活部循環型社会推進課 温暖化対策推進班 ☎043-223-4139



地域部会活動

第1回君津部会

【10月21日（金）】

1. 前年度活動実績及び本年度事業計画等
2. 講演 千葉県大気保全課 阿由葉信雄 氏
「千葉県の大気保全の概況について」

第2回君津部会

【12月2日（金）】

施設見学会

- ① キッコーマンもの知りしょうゆ館
- ② 墨田清掃工場



第1回市川部会

【10月28日（金）】

1. 理事会報告、トピックス&情報交換
2. 施設見学会

- ① 「サッポロビール（株）千葉工場」



第2回海匠・山武部会

【11月18日（金）】

1. 施設見学会
「丸源起業（株）廃棄物中間処理業者」
2. 情報交換会



第1回市原部会

【9月9日（金）】

1. 前年度活動実績及び本年度事業計画等
2. いちはら環境フェスタの実施について
3. 講演「ISO14001：2015 を理解する」
講師：NEC ファシリティーズ（株）
管理部 染谷 正行 氏

第2回市原部会

【11月18日（金）】

施設見学会

- ① かずさ DNA 研究所
- ② 崎陽軒 横浜工場



第1回千葉部会

【11月17日（金）】

施設見学会

- ① 電力中央研究所横須賀地区

第2回千葉部会

【12月2日（金）】

1. 協議会事務局から近況報告
2. 意見交換会
3. 講演 千葉市行政より
「千葉市地球温暖化対策実行計画について」
「水銀大気排出規制の実施について」



第1回船橋部会

【11月18日（金）】

1. 理事会報告
2. トピックス&情報交換
3. 講演 船橋市行政より
「PCB 廃棄物の処理について」
4. 施設見学会
①「サッポロビール（株）千葉工場」



第1回松戸部会

【11月11日（金）】

1. 平成28年度事業推進について
2. 事業内容及び事業の経過報告
3. 松戸市環境部からの報告
4. 講演「気候変動影響と NEC の緩和策・適応策」講師：NEC ファシリティーズ（株）
管理部 染谷 正行 氏



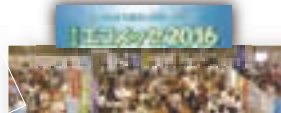
環境イベント

エコメッセ2016 in ちば(当協議会) ～みつけよう私のCOOL CHOICE～

【9月22日（木・祝）】

千葉県最大の環境展が今年も盛況に行われました。持続可能な社会の実現を目指したテーマとその取り組みに当協議会も協賛し出展もしました。

来場者との真剣なやり取りがあり、環境クイズには多くのチャレンジャーが楽しみながら学んでいました。



いちほら環境フェスタ（市原部会）

【10月9日（日）】

生憎の雨模様の中、沢山の市民の方々が来場されました。

今までの「いちほらエコフェア」は、「リサイクルフェア」と合同で開催することになりました。展示パネルや環境クイズを通して地域とのコミュニケーションを一層深めることができました。





協議会スケジュール、お知らせ



○平成 29 年度 主な行事 予告

◆研修会

- 5 月 12 日 (金) 公害防止統括者等研修「定期総会同日開催」
- 7 月 5 日 (水) 公害防止管理者等育成研修 (大気関係)
- 8 月 18 日 (金) 廃棄物関係管理者研修 (適正処理)
- 9 月 15 日 (金) 公害防止管理者等育成研修 (水質関係)
- 10 月 18 日 (水) 廃棄物関係管理者研修 (施設見学)
- 11 月 6 日 (月) 公害防止管理者等育成研修 (騒音・振動・悪臭関係)
- 12 月 8 日 (金) 公害防止管理者等育成研修 (実務講習)
- 1 月 16 日 (火) 公害防止管理者等育成研修 (化学物質関係)
- 2 月 1 日 (木) 廃棄物関係管理者研修 (資源循環)

◆ ISO セミナー

- 6 月 15 日 (木) 「ISO14001 新規格」内部監査移行対応セミナー
- 11 月 21 日～22 日 ISO14001 内部環境監査員養成セミナー

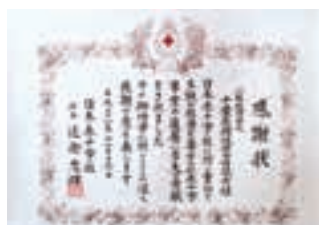
◆公害防止受験講習

- 7 月 18 日～20 日 水質関係 3 日間コース 第 1 回目
- 8 月 22 日～24 日 同上 第 2 回目
- 8 月 1 日～3 日 大気関係 3 日間コース 第 1 回目
- 8 月 29 日～31 日 同上 第 2 回目
- 8 月 22 日～23 日 騒音・振動関係
- 8 月 29 日～30 日 ダイオキシン類



○事務局よりお知らせ

- ・研修会やセミナー等の申込みご案内は、約 1 か月前に行います。
- ・各種行事の最新スケジュールと創刊号からの全会報閲覧をHPに新設しました。
- ・各種情報はメールでも配信します。また、当協議会HPは随時更新しておりますので、最新情報をご確認ください。
- ・事務局では千葉県が行う「CO2 CO2 スマート宣言」登録をしました。環境省の「COOL CHOICE」にも登録し、活動しております。
- ・事務局内には会員企業のCSR レポート等を陳列しています。お気軽にお立ち寄り、ご覧になって下さい。
- ・9 月 3 日に当協議会主催「高志会ゴルフコンペ」の第 50 回記念大会を行いました。
- ・この度、日本赤十字社より当協議会が行う長年の募金支援活動に対し感謝状が授与されました。



有限の鉱業から無限の工業へ。

UBE

小さな村の炭鉱組合から始まったUBEグループは、機械、セメント、化学製品へと事業を大きく広げてきました。時代のニーズを先取りして、お客様が必要とする新たな価値を提供していく技術力と革新の心。

今日も私たちUBEグループの羅針盤となっています。

宇部興産株式会社

〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館
TEL.(03)5419-6110 <http://www.ube.co.jp>



三井化学株式会社 茂原分工場

工業材料・情報材料を中心とした新たな展開を目指して。

茂原分工場の概要

1957年（昭和32年）に東洋高压工業（当時）が、膨大な埋蔵量を誇る高純度の水溶性天然ガスに着目し、東日本の拠点工場として操業を開始したのが、茂原分工場の始まりです。

当時は、メタノール、アンモニア、尿素などの製品を生産していました。特に世界標準となった尿素技術は、ここ茂原の地で開発、技術導出されました。その後、二度の会社合併を経て、2007年（平成19年）に茂原分工場に名称変更されました。現在では、塗料用樹脂、高機能接着剤、トナー用バインダー樹脂、液晶シール材等の高付加価値、機能製品を生産しています。

2006年に工場敷地内に国内外オペレーターの教育研修施設『技術研修センター』が設立され、三井化学の技術伝承の拠点となっています。



【所在地】

〒297-8666 千葉県茂原市東郷 1900 番地
代表電話 0475-23-0111

【主要製品】

- ・アクリルアミド、メタクリルアミド
- ・アルマテックス®
（塗料用樹脂、トナー用バインダー樹脂等）
- ・ストラクトボンド®
（熱硬化型液晶用シール材、UV硬化型液晶用シール材）



Engineering Partner

お客様と共に

TOYOはお客様が踏み出す世界中のどこへでも

ご一緒してお役に立ちたいと願っています

私たちTOYOが目指すのは

“Global Leading Engineering Partner”

お客様にいつも信頼いただける存在であり続けたい



東洋エンジニアリング株式会社

「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」へ

新日鐵住金グループは、
常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、
優れた製品・サービスの提供を通じて、
社会の発展に貢献します。



新日鐵住金株式会社

しんにってつすみきん

君津製鐵所

■ 編集後記 ■

新年あけましておめでとうございます。

昨年7月に国立西洋美術館(東京都台東区)が世界文化遺産に登録され、日本の世界遺産は20件になりました(文化遺産16件、自然遺産4件)。世界遺産全体の2%程度ですが、この20件は、世界でも12位になっているそうです。これら、世界で共有する普遍的な価値については、未来へ、後世へ引き継いでいかないといけなものです。千葉県にも、自然の風景地として国定公園が2箇所あり、この自然の風景地をいつまでも残していきたいものですし、小生も本稿を書きながら、今年は千葉県の国定公園、自然公園、文化遺産を巡って見ようかという思いに駆られました。

さて、昨年もさまざまな自然災害がありました。熊本地震、利根川上流のダムの貯水率低下、観測史上初の東北への上陸をはじめとする6つの台風上陸、阿蘇山の噴火、鳥取地震等々。進歩する科学技術によって、自然災害の予測は今後も発展していくことでしょう。科学技術は、環境問題も発生させましたが、予測を含めた環境保全のリスクを低減してきたことも事実であり、これからも科学技術の適切な活用で、課題解決に向けた活動が推進していくことと感じます。

当協議会では、会員企業様が、環境に関する事項に関し、法も含めた情報交換・情報入手の場としてご活用していただければ、と願っております。ご支援・ご協力よろしくお願いします。

H.C

会 報 第 9 6 号

発行年月 平成29年1月

発 行 者 一般社団法人 千葉県環境保全協議会

会 長 宮之本 昭二

千葉市中央区長洲1-15-7 森林会館内

電話 043(224)5827

印 刷 株式会社 アイポップ

千葉県長生郡睦沢町上市場1831

電話 0475(40)3700

編集委員

宇部興産(株)、三井化学(株)茂原分工場
新日鐵住金(株)、東洋エンジニアリング(株)

表紙写真：

タイトル 「 飛 翔 」

(株)ダイセキ 坂井 史郎 氏 提供

事務局からのお知らせ

会報表紙写真の募集をします

(随 時)

会報“kanhokyo”は、表紙写真を会員のみなさまから募集いたします。

2回発行の夏号(8月)と新春号(1月)の表紙写真としてふさわしい作品を編集委員会にて選考させていただきます。

掲載にあたっては、薄謝を贈呈致しますのでふるってのご応募をお待ちします。

